

令和3年4月9日

埼玉県立大学

地域包括ケア推進セミナー 御中

本業を通じた 地域貢献の取り組みについて



株式会社イトーヨーカ堂

経営企画室 CSR・SDGs推進部

本日の報告

1. 創業の精神“商いのところ”

2. 地域行政との連携

弊社紹介



株式会社セブン&アイ・ホールディングス



国内コンビニエンスストア事業

つねに時代の一步先を行く
コンビニエンスストアとして進化。

(株)セブン-イレブン・ジャパン [20,345店舗]
(株)セブン-イレブン・沖縄 [244店舗]
(株)セブン・ミールサービス [82店舗]
(株)セブンプレミアム・ドットコム SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC. [65店舗]
(株)セブン-イレブン(中国)投資有限公司 [244店舗]
(株)セブン-イレブン北京有限公司 [82店舗]
(株)セブン-イレブン成都有限公司 [122店舗]
(株)セブン-イレブン天津商業有限公司 [122店舗]

海外コンビニエンスストア事業

お客様ニーズに対応した利便性を追求。
グローバル展開も拡大。
7-Eleven, Inc. [9,696店舗]



百貨店事業

【店ならではのサービスで、
にはない新しさとワクワク感を提供。
モエリ、西武 (株)池袋ショッピングパーク
・モエリ [7店舗] (株)こまつお便
・西武 [8店舗]



金融関連事業

ATMや電子マネー、クレジットカード、保険など、
暮らしに溶け込んだ金融サービスを提供。

(株)セブン銀行 [24,461] ■ (株)バンク・ビジネスファクトリー
(株)セブン・フィナンシャルサービス (株)セブン・ペイメントサービス
(株)セブン・カードサービス (株)セブン・ペイ
(株)セブンCSカードサービス FCTI, Inc.
■ ATM設置台数



スーパーストア事業

商品・サービス、お店づくりを通し、
地域のお客様に寄り添ったコミュニティ拠点へ。

(株)イトーヨーカ堂 (大3店舗含む) [167店舗] (株)ヨークスーパー (株)ヨークベニマル [222店舗] (株)ヨークマート [80店舗] (株)シエルガーデン [24店舗] (株)サンエー [1店舗] (株)コイフーズ アイワイフーズ(株) (株)ヨークスーパー (株)セブンファーム イトーヨーカ堂(中国)投資有限公司 成都イトーヨーカ堂有限公司 [7店舗] 華南ヨーカ堂有限公司 [1店舗] (株)ダイイチ [23店舗] (株)天満屋ストア [47店舗]



専門店事業

幅広く多彩な専門店事業。それぞれの分野で
信頼されるブランド力を発揮。

(株)赤ちゃん本舗 [112店舗] (株)ニッセンホールディングス (株)ロフト [113店舗] (株)バーニーズ ジャパン [12店舗] (株)セブン&アイ・フードシステムズ (株)オッシュマンズ・ジャパン [82店舗] ・レストラン(ダニーズ) [375店舗] (株)Francfranc(フランフラン) [140店舗] ・給食 [207店舗] (株)タワーレコード(株) [79店舗] ・インストア・専門店、その他 [162店舗]

その他の事業

グループ各社と連携し、
価値あるサービスを提供。

(株)セブン&アイ・ネットメディア (株)ハッピネスエッジ (株)セブン&アイ出版 (株)デルベ (株)セブカルチャー・ネットワーク (株)セブン&アイ・クリエイティブ (株)セブン&アイ・アセットマネジメント





株式会社イトーヨーカ堂

おかげさまで2020年創業100周年

1920年に洋品店として開業

□ 信用もなく

□ 資金もない

～戦後東京千住で2坪の店からのスタート



創業	1920年
業態	総合スーパー
店舗数	137店 ※2021年1月現在
代表者	三枝 富博
従業員数	31,513名 ※2020年2月現在
売上高	1兆1,543億7,400万円 ※2020年2月現在

1. 創業の精神“商いのところ”



1. 創業の精神“商いのところ”



名誉会長 伊藤 雅俊

お客様は来て下さらないもの、
お取引先は売って下さらないもの、
銀行は貸して下さらないもの、というのが
商売の基本である。

だからこそ、一番大切なものは信用であり、
信用の担保はお金や物ではなく、

人間としての誠実さ、真面目さ、そして何より真摯さである。

1. 創業の精神 “社是”

私たちは、お客様に信頼される、
誠実な企業でありたい。

私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される、
誠実な企業でありたい。

私たちは、社員に信頼される、
誠実な企業でありたい。

株式会社セブン&アイ・ホールディングス
社 是



1. 創業の精神 “5つの重点課題”

SDGsの達成につなげるセブン&アイグループの5つの重点課題



1. 創業の精神“目指すべき姿”

「買う」だけではなく、「集う」「食べる」「遊ぶ」「学ぶ」「相談する」などの新たな価値を提供し、社会の活力や課題解決につなげ、“地域になくてはならない存在”となる。



+



「自治体との連携」

2. 地域行政との連携

2. 地域行政との連携

セブン&アイ 重点課題 1

高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

ステークホルダーとの取り組み

「自治体との連携」



協定締結 累計59自治体(10都道府県48区市1行政区)
締結店舗数：69店舗

締結が目的ではなく地域の活性化市民サービスの向上に向けた持続的な取り組み



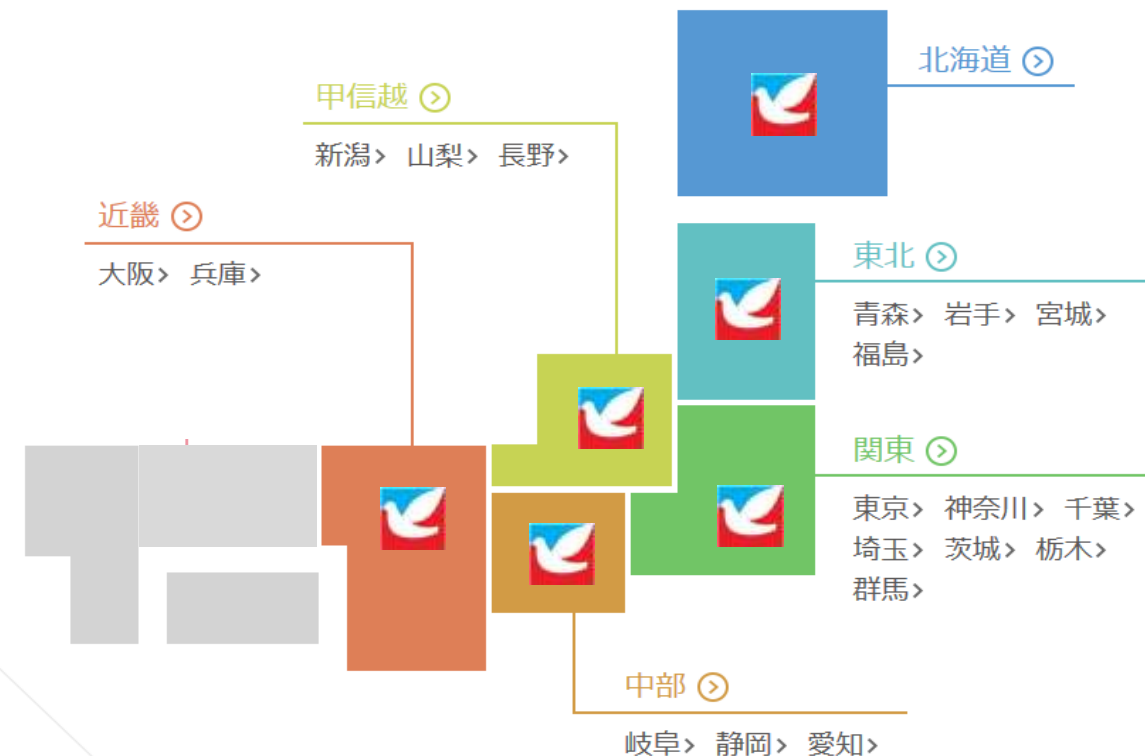
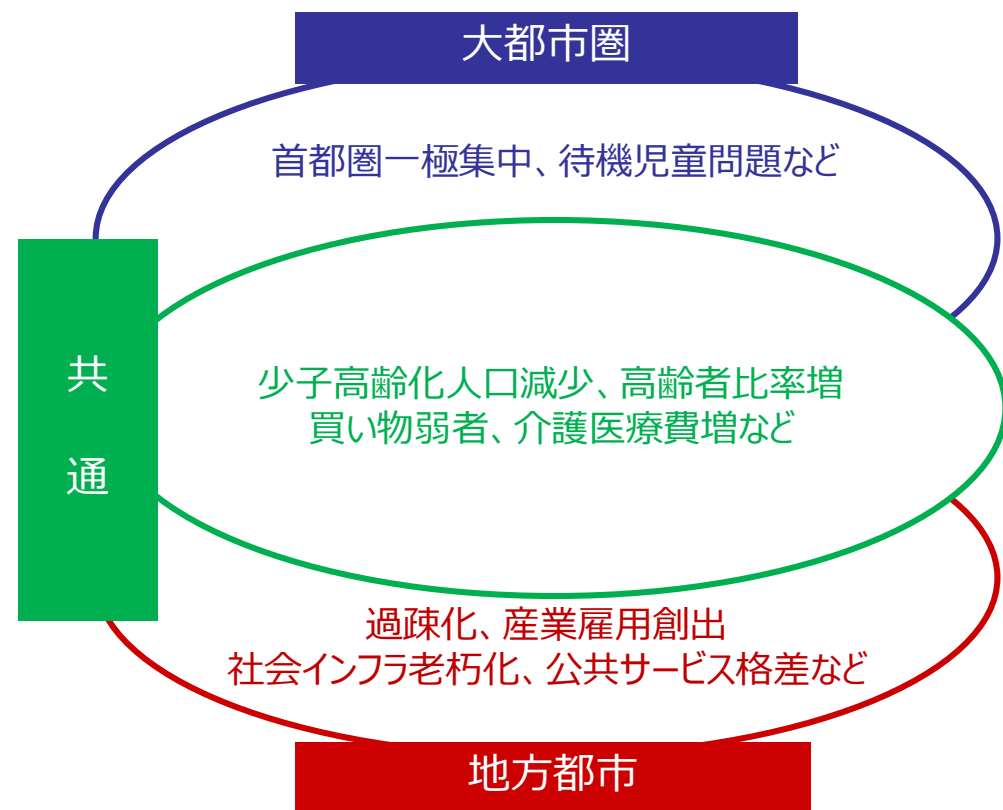
2. 地域行政との連携

地域を理解する

本業を通じた社会貢献 = 地域課題の解決・地方創生

自治体単位にマーケットは違い、抱える問題は様々。

個店マーケットに合わせた地域貢献が重要。



2. 地域行政との連携

締結することが目的ではなく、
締結後の継続的な取り組みから、地域からの信頼を得られる



- ◎ 店舗における地域行政推進担当：管理統括マネジャー
役割：会社・店舗の信頼向上のため地域・行政・取引先との誠実な対応を実施する。
※ 2017年9月より配置。

2. 地域行政との連携

地域行政連携 3つの視点

- 市民サービスの向上と地域の活性化
- 本業を通じた社会課題の解決
- SDGsへの貢献



5つの重点課題

重点課題1
高齢化、人口減少時代の
社会インフラの提供

重点課題2
商品や店舗を通じた安全・安心
の提供

重点課題3
商品、原材料、エネルギー
のムダのない利用

重点課題4
社内外の女性、若者、高齢者
の活躍支援

重点課題5 お客様、お取引先を
巻き込んだエシカルな社会づくりと
資源の持続可能性向上

地域・社会課題

下記は、地域行政と連携する主な項目

- (1) 地産地消と市産品の販路拡大に関すること
- (2) 市政情報・観光情報の発信に関すること
- (3) 地域や暮らしの安全・安心に関すること
- (4) 高齢者・障がい者の支援に関すること
- (5) 子ども・青少年の育成に関すること
- (6) 食育・健康増進に関すること
- (7) 環境保全・リサイクルに関すること
- (8) 地域防災・災害対策に関すること
- (9) 地域の活性化、市民サービス向上に関すること
- (10) その他協議により決定した事項

本業を通じた取り組み

・便利なお届けサービスネットスーパー、とくし丸
・認知症サポーターの養成

・地域との連携、コミュニティの拠点
・減塩・低カロリーなどの商品開発

・食品廃棄物の削減、長鮮度化
・再エネの活用、省エネ推進

・育児介護に貢献する商品・サービス
・子どもの職場体験、育児相談

・お取引先サステナブルプライフイーン
・サーキュラーエコノミー推進・全レジ募金

SDGsへの貢献



セブン&アイ 重点課題 1

高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

移動スーパーとくし丸



本業を通じた社会課題解決で「社会」「企業」双方の価値を創出＝持続可能な成長

◎社会課題（取り組みの背景）

- ・買い物難民者の増加
- ・コロナウイルス感染症に伴う三密回避、感染予防の観点から、店舗以外の買い物の場のニーズ社会」と「企業」の価値が両立する

◎具体的活動（シナリオ）

- ・買い物困難者へのお買い物の場の提供
- ・高齢者や子どもなど地域の「見守り活動」を通じたネットワークの構築
- ・高齢者の買い物を通じた食育・健康増進、認知機能低下の防止



社会の価値

- ・毎日の買い物に不自由している高齢者など、買い物困難に対してのお買い物の場の提供
- ・コロナウイルス感染症予防対策である新たな買い物様式として三密回避の安全・安心の提供
- ・直接顔を合わせ買い物する行為から見守り活動としての役割、地域ネットワーク構築

企業の価値

- ・売上・利益の創出。非来店客への御用聞きで、店と競合せずプラスオンの売上確保。地域と連携しながらドミナントで拡大
- ・収益面以外：従業員の活躍の場の提供。

2. 地域行政との連携 取り組み事例



セブン&アイ 重点課題 1

高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

移動スーパーとくし丸



移動スーパーとくし丸を通じた地域との連携 「高齢者や子どもなど地域の見守り活動」



地域行政の見守りネットワークに加入。
異変を感じた時など連絡・確認出来る
体制を確保。



地域包括支援センターや民生委員の方
など地域の方との定期的な情報交換。

2. 地域行政との連携 取り組み事例



セブン&アイ 重点課題 1

高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

認知症サポーター養成講座



移動スーパーとくし丸を通じた地域との連携 高齢者支援「認知症サポーターの養成」



地域包括支援センターと連携し従業員さんだけでなくお客様を対象とした講座も開催。



講座開催時には地域包括支援センターとの情報交換から認知症の方への応対など確認。



セブン&アイ 重点課題 2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

市政情報の発信



本業を通じた社会課題解決で「社会」「企業」双方の価値を創出＝持続可能な成長

◎社会課題（取り組みの背景）

- ・コロナウイルス感染症に伴う三密回避、感染予防の観点から、巣籠により高齢者は、SNS等の活用が不得意なため、重要な市政情報を得られにくい。
- ・特殊詐欺等の多様化、コロナ禍で在宅率が高まり高齢者被害の増加。

◎具体的活動（シナリオ）

- ・コミュニティの場としてお買い物ついでの各種情報提供。
- ・市政情報コーナー常設により地域行政の啓発活動に協力。
- ・店舗インフラを活用した啓発活動の推進

社会の価値

- ・情報難民の解消
- ・市政情報コーナーの常設により定期的な情報発信。また、タイムリーな情報提供につながり、市民サービスの向上につながる。

企業の価値

- ・来店動機の一つにもなり集客効果が見込める。
- ・地域行政の情報発信場所としてお客様から企業に対する信頼価値が高まる。
- ・地域行政を通じた地域住民をはじめとしたステークホルダーとの関係強化が見込める

2. 地域行政との連携 取り組み事例



セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

市政情報の発信



地域行政情報発信コーナー常設



日立店：ひたち情報発信コーナー



アリオ葛西店：江戸川区お知らせ常設

フードドライブ常設



浦和店フードドライブ

2. 地域行政との連携 取り組み事例



セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

店舗内投票所



地域行政情報発信コーナー常設 → スペースの有効活用『店舗内投票所』



17年衆議院議員選挙、葛西店（東京都）の状況
最終日5,130人、期間計18,194人が投票来店
売上予算比113% 昨年比107%



17年衆議院議員選挙、知多店（愛知県）の状況
最終日3,026人、期間計4,556人が投票来店
売上予算比128 % 昨年比128%

2. 地域行政との連携 取り組み事例



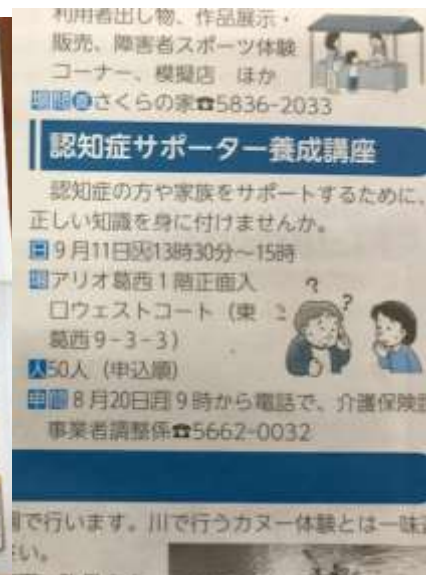
セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

認知症サポーター養成講座



地域行政情報発信コーナー常設 → スペースの有効活用『認知症サポーター養成講座』



お客様向け講座では、事前に店内の情報発信コーナーでの告知だけでなく区報にも掲載し対応しています。

参考：認知症サポーター養成数 ※2021年2月22日現在 10,150人 全従業員に占める割合 32.2%

2. 地域行政との連携 取り組み事例



セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

市政啓発イベント



行政課題を踏まて『健康相談会』『健康増進イベント』などイベントを実施



群馬県伊勢崎市 地域包括支援センターと取り組み
認知症ミニ講話や介護予防体操など各ブースを設けて開催



神奈川県横浜市との取り組み：店頭約15坪のスペースを有効活用
「血管年齢測定」等、健康チェック

2. 地域行政との連携 取り組み事例

本業を通じた社会課題の解決は、地域の信頼の輪が広がり、イトーヨーカドーが、地域になくてはならない存在となる



自治体
NPO/NGO等

生きがい、健康促進、見守り



ご高齢者



地域包括支援センター、社会福祉協議会
障がい者施設、医師会等



ケアマネ
民生委員

見守り活動



地域の方々



地域の拠点として、みんながつながる取り組みへ

**私たちイトーヨーカドーは、
ステークホルダーに信頼される企業でありたい。
地域に根差したお店でありたい。**



**地域に寄り添い、
地域の拠点としての
役割を果たしていきます。**